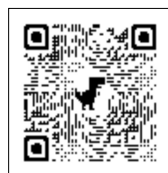


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



R7年11月10日

文責：校長

読書月間

# 本をたくさん読もう

朝夕は気温が下がり、秋らしくなってきました。ただ、気温の差が大きく、体調を崩してしまう子も少なくないようです。本校ではまだインフルエンザは流行していませんが、県内では学級閉鎖の学校も出ているようです。今後は注意が必要です。

さて、10月30日（木）の児童集会で、図書委員会が発表しました。主に次の内容を発表しました。

## ①読書月間に取組について

（11月4日～25日一人3冊まで）

## ②読書月間中のイベント

（読書ビンゴは2つそろったらしおりをプレゼント）

## ③低・中・高学年へのおすすめの本紹介

## ④図書館利用についてお願い

発表後、「たくさん読んでビンゴを達成したい」「図書館では静かに本を読みたい」などの感想を発表しました。この秋たくさん本を読んでほしいと思います。



読書月間が始まり混雑するカウンター



児童集会で発表する図書委員会

## 心のアンケート実施中

心のアンケートは、子供たちの「心の状態を客観的に把握し、より良い支援や改善につなげ、児童が安心して学校生活が過ごせるようにする」ことを目的としています。具体的には、いじめや不登校などの問題の早期発見や未然防止、そして子供の心の健康度や満足度を向上させるために行うものです。

本校ではこのアンケートを今月中に全ての児童を対象に行い心の健康状態を把握します。その後、一人一人の回答状況を担任が把握し、教育相談を実施します。心の健康を阻害しているものがいじめであると判断した場合、学校全体で共有し、対策を講じ、必要に応じて関係機関と緊密連携して解決を目指します。

本校の「いじめ防止基本方針」は近日中にホームページに掲載いたします。ご家庭におかれましては、この期間に限らず子供さんの様子が普段と違うと思われる場合は遠慮なく担任または学校にご相談ください。



## 収穫の秋（脱穀体験）



手作業で籾を取る子供たち

先日、5年生による稲刈りを行いました。一輪車置き場に干してあった稲も十分乾燥したようでしたので、5日（水）に脱穀作業を塚田さんと中村さんのご指導の下で行いました。

子供たちはまず、割り箸や牛乳パックを使った、手作業による脱穀の仕方について説明を聞きました。割り箸を割らずに少し開いた隙間に入れてしっかりと押さえて籾を外す作業は、簡単に見えたようでしたが、実際にやってみるとなかなか外れにくく難しそうでした。

次に、「足踏み脱穀機」での脱穀について説明を聞きました。ペダルを踏みながら機械を回し、しっかりと握らないと稲が機械に巻き込まれてしまうのでとても難しそうでした。



足踏み脱穀機の使い方指導を受ける5年生

現在はこのような作業はコンバインが一瞬でやってくれますが、稲が米になるまでの過程や、自分の口に入るまでの過程をしっかりと勉強することは子供たちにとって大切なことだと思います。特に米の価格問題をはじめ、生産農家の減少など日本の農業が抱える問題は子供たちも関心を持たなくてはなりません。

この体験を通して、社会科で学習した内容を重ね自分の考えをしっかりと持ち、しっかりと大人になつてほしいと思います。これまでご指導いただいたいる塚田さんをはじめ、地域の農家の方々、JAの方々のご指導のもと、子どもたちは、貴重な体験と学習をすることができています。ありがとうございます。